

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	障害児通所支援 書写ひまわりホーム（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの活動スペースが十分に確保され、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているところ。	広々として全面バリアフリーで、視覚支援を取り入れた構造化、見通しを立てやすいスケジュールの表示をしている。遊びのスペースも十分にあり、のびのびと活動できるホールもある。	障害の特性により、仕切りを作ったり、個別の空間を提供できるようにしていく。子供たちの安全を確保できるよう危険のない環境設定を心がける。
2	利用定員やこどもの状態に対して適切な職員の配置をしている。	利用定員に応じた必要な職員数に加え、加配職員を配置している。すべてのこどもをしっかりと見れるように配置している。	利用定員に応じた職員配置はもとより一人ひとりの職員の支援の質を向上させていく。
3	適切な支援が提供されている。職員がチームとして連携しており、保護者との信頼関係も構築されている。	朝礼での打ち合わせや役割分担の確認、終礼での一日の支援の振り返り等よりよい支援に向けての話し合いを充実させていく。	朝礼、終礼を充実させ、会議等でより前向きな意見交換ができるよう職員間の連携を深めていく。また、研修等を受講して知識、技術の向上を図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	サービス提供時間が、13時までとなっており短いこと。	放課後デイサービスとの多機能型のため、サービス提供時間を今以上長くすることは難しい。	現在のサービス提供時間を延ばすことは難しいが短い中にも充実した療育ができるよう、保護者にも満足していただけるように取り組んでいく。
2	家族に対して、家族支援(ペアレントトレーニング等)が十分できていない。	家族からの悩みや困りごとなどを伺い、寄り添ってともに考え、助言とをしているが、家族支援をするための専門的な知識は不十分である。	今後、研修等を受け、ペアレントトレーニングについて学び、家族が参加できる研修等も開催していく。
3	基本、送迎を行っていない。	家族が運転ができない等の理由がある場合は、送迎もしているが、職員の配置等もあり、すべての利用児の送迎はむずかしい。	できるだけ、家族の要望に沿えるように考えていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				利用児童数		回収数	
障害児通所支援 書写ひまわりホーム (児童発達支援)		2025年 2月 14日				27		20	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	100%			0%	中も外も広々としていて窮屈感が全くない環境だと思えます。	利用定員に応じたスペース以上を確保しています。		
	2	100%			0%	子どもが一人にならないように工夫してくださっています。	利用定員に応じた職員配置はもとより、配置基準をうわまわった職員配置をし、利用児の状況等により、職員を増やすようにしています。		
	3	95%			5%	段差なく、階段を利用する場面もないので段差が苦手な子供は、とても助かります。	今後もひとりひとりの障害の特性に応じて安心できる環境を整えていきます。		
	4	100%			0%	いつもきれいにされています。	毎日の清掃・消毒等をより丁寧に、清潔で心地よく過ごせる空間を維持していきます。		
適切な 支援の 提供	5	90%	5%		5%	わが子なら感情的に怒ってしまうような場面でも、プラスにとらえて優しく接して下さいます。	どんな些細なことでもできたことを認め、ほめて、次のステップに進めるよう支援していきます。		
	6	100%					今後も支援プログラムに基づき、日々の支援を行っていきます。		
	7	95%			5%	とても丁寧に計画していただきびっくりしました。	保護者のニーズもしっかり取り入れつつ、子ども本人の姿をしっかりとらえ作成していきます。		
	8	90%	5%		5%	子どものことをよく見てくださっているのがよくわかりました。親の意見もよく聞いて反映してくださっています。	5領域の内容を設定し、保護者とも内容を確認しながら支援内容を設定しています。		
	9	95%	5%				引き続き、児童発達支援計画に沿った支援を行っていきます。		
	10	95%	5%				利用する子供たちの興味関心や季節に合ったプログラムをこれからも考えていきます。		
	11	95%			5%	法人内の子ども園に行って交流させてもらって楽しんでいます。	同じ建物内にある子ども園の分園の園児や本園の園児との交流もどんどん増やしていきたいと考えています。		
保護者 への 説明 等	12	100%				時間を十分にとって説明してくださいました。	契約時には、より丁寧にわかりやすい説明ができるよう努めていきます。		
	13	95%	5%			詳しく説明していただきました。	引き続き、児童発達支援計画に沿った支援内容の説明を心がけていきます。		
	14	65%	15%		20%	お茶会はとてもよかったです。	母子通園の日やお茶会などで保護者同士の交流を今後も図っていきます。		
	15	95%	5%			細かいところまで気づいてくださり、成長を一緒に喜んでくださいます。	引き続き、送迎時や連絡帳を通して、保護者から子供の状況を聞いたり伝えたりしながら、共通理解をはかっていきます。		
	16	100%				母子通園の時にはいろいろ相談に乗ってもらっています。	定期的な面談や母子通園の際に、保護者の悩み等を伺い、その思いに寄り添いつつ助言等をさせてもらっています。		
	17	100%				できることが増えたり、成長した話などを一緒に喜んで下さるので、たくさんお話したいといつも思います。	保護者の思いに共感しつつ、丁寧にあなたかたい支援を心がけていきます。		
	18	90%			10%	夏休みなどの長期休みの時、兄弟も参加させてもらってたすかりました。	お茶会等で保護者同士の交流の場を設けたり、母子通園の際には、きょうだいも受け入れたりして、きょうだいの支援を引き続き行っています。		
19	95%			5%		保護者から声をかけやすい環境を作ったり、面談等で伝えたりしています。			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%				小さな事柄でも親身になって聞いてくださいます。	母子通園の日や送迎時、連絡帳等で、情報交換を行っています。引き続き、情報を共有し、共通理解に努めていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	95%			5%		「ひまわりだより」の内容をより充実させて、子どもたちや保護者に喜んでいただけるように努めていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					引き続き、個人情報の取り扱いには十分に留意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	75%	5%		20%		マニュアルは策定していますが、保護者への周知、説明は不十分ですので、今後はしっかりと行っていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	70%	5%		25%		避難訓練は定期的に行っていますが、今後は保護者への通知をしっかりと行っていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	90%	5%		5%		引き続き、子どもたちの安全を確保するために、事前しっかりと準備をして受け入れていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	80%	5%		15%		事故等が発生した場合は、速やかな連絡や状況等の説明を引き続き心がけていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%				小さいころからお世話になっていますが、いつもほっとできる空間で安心できるようです。	引き続き、子供たちが安心して通所してくれるように職員全員で取り組んでいます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%				・毎日「たのしかったー」「ひまわりホーム行くー」と言っています。 ・ひまわりさんの日はとても楽しみにいつも大喜びで通っています。	子どもたちが、楽しかったと思ってくれるよう日々の支援をより丁寧に楽しく充実させていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%				・職員の皆さんが、いつも温かく優しく寄り添って下さり心強く子育てをできています。 ・子供だけでなく私自身も相談させてもらって、助けてもらっています。	子どもたちや保護者に満足していただけるように職員全員で日々、心を込めて支援をしていきます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		障害児通所支援 書写ひまわりホーム (児童発達支援)		公表日		2025年 2月 14日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		保育室1室、多目的ホール1室があり、必要に応じて仕切りを使い個別スペースも確保できる。	利用定員に応じたスペース以上を確保しているの で、今後も現状を維持していく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用定員に応じた基準の職員数および加配職員も配置している。すべての子供をしっかりとお見することができるよう配置している。	今後も利用定員に応じた職員配置はもとより配置基準を上回っての職員配置を継続していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		全面バリアフリーとなっている。視覚支援も取り入れた構造化、見通しを持ちやすいスケジュールなどを示している。	今後も一人ひとりの障害の特性に合わせて、安心できる環境を整えていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃、消毒等で清潔な環境を心がけている。子供たちが安心して過ごせるよう安全面にも十分気を付けている。	排せつ後と食事前の手洗いを徹底していく。清掃はより丁寧に行っていく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		パニック等になったときは、気持ち切り替えられるように一人で落ち着ける場所でも過ごせるようにしている。	前もって準備をしたり、急にパニックになったときにも迅速に対応できるようにしていく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		終礼時や職員会議等で目標設定や日々の活動の振り返りを全員で話し合うようにしている。	引き続き、業務改善を継続していく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表に記入していただき、全員でその結果等を確認、検討し、業務改善につなげている。	職員間で確認、検討しているが、それを必ず実行できるようにしていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		従業員向け評価表や、業務改善シートに記載し、面談を行ったり、会議で話し合伊業務改善につなげている。	職員間で確認、検討しているが、それを必ず実行できるようにしていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		第三者による外部評価は行ってはいないが、保護者にはアンケート等で意見を聞いている。	今後、第三者による外部評価も検討していきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部の研修に参加したり、法人内で行われる研修に毎月一回参加している	引き続き、研修等を受講する機会を作っていく。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		職員間で話し合い、支援プログラムを作成し、公表している。	定期的に職員間で見直し、修正等あれば、その都度行う。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		6か月に一度、必ずモニタリングを行い、保護者や子供のニーズを聞き取り、児童発達支援計画を作成している。	今後も児童発達支援計画をていねいに作成していく。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		こどもの個別の会議を行い、職員全員の意見を取り入れて検討している。	今後も継続していく。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員会議等で児童発達支援計画を共有し、どのように支援していくかを全員で考え共通理解している。	今後も継続していく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		毎日のサービス提供記録やケース記録、連絡帳などで確認している。	今後も継続していく。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域の内容を設定し、保護者とも内容を確認しながら支援内容を設定している。	今後も継続していく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員会議等で話し合い、意見を出し合ってプログラムを考えている。	今後も職員間で十分な話し合いを行い検討していく。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		繰り返し続けることを大切にしながら、新しい事にもチャレンジできるように考えている。	子どもたちにあった新しいプログラムも考えていきたい。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		ひとりひとりの子供の発達状況や特性に応じて個別活動と集団活動を織り交ぜて児童発達支援計画を作成し、支援している。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日の朝礼時にその日の流れ、役割を確認し、不備がないようによく話し合っている。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日終礼を行い、その日の支援の振り返りを行い、保護者からの話なども全員で共有するようにしている。		
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援終了後、ケース記録や支援記録等を必ず作成し、検証、改善すべきことは話し合っている。	今後も継続していく。		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月に1度、必ずモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを行っている。	今後も継続していく。		
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参画している。会議の前に全職員に話を聞き、情報を収集している。	児童発達支援管理責任者が参画できない時は、直接支援員が参画するようにしていく。		
25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて、医療関係や保育所、幼稚園等と連絡を取り、連携して支援ができるようにしている。	より密に連携できるようにしていく。		

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		相談支援事業者を軸として、子供を支援している関係各所と連携を図っている。	引き続き、支援内容の情報共有をしていきたい。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		小学校や特別支援学校等に子供の情報提供をし、相互理解をはかっている。	引き続き、支援内容の情報共有をしていきたい。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		センターとの連携はしていないので、今後実行していきたい。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		保育園交流を行って、たくさんの子供たちと関わる機会を作っている。	今より回数を増やしていきたいと考えている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		母子保育の時に話をしたり、登園時、降園時に話を聞いて、確認し、共通理解を深めている。	日々の関りの中で、保護者との信頼関係を築いていくようにする。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		今後、職員もペアレントトレーニングについて学び、家族が参加できる研修も開催していく。	
	保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学時や契約時に細かく丁寧に説明している。	今後も丁寧な説明を行っていく。
36		児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		こどもは自身の思いをつたえることが難しいので、保護者から丁寧に話を伺っている。	今後も継続していく。	
37		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		内容についての説明を行い、不明な点、疑問点には答えたらうて、修正等をして同意を得ている。	今後も継続していく。	
38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		その都度、相談に応じ、一緒に考え、助言や支援を行っている。	今後も継続していく。	
39		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		不定期ではあるが、お茶会等、保護者同士が交流できる場を設けている。	今後、保護者同士で交流する場を定期的に設けていきたい。	
40		こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者から相談や申し入れがあった場合は、職員間で話し合い、すぐに対応するようにしている。	今後も迅速かつ適切に丁寧に対応していく。	
41		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		「ひまわりだより」を毎月1回、発行している。	より密に連携できるようにしていく。内容を充実させ、喜んでいただけるようにしていく。	
42		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に関わるものは、事務所に保管し、施錠している。	今後も十分留意していく。	
43		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚支援や文書での伝達など、それぞれのこどもや保護者に合わせた伝達の仕方を工夫している。	今後も配慮していく。	
44		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	現在、特に行っていない。	今後、どのように地域と関わっていくかを検討していく。	
非常時等の対応		45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルは策定しているが、保護者への周知は不十分である。	保護者に周知し、訓練も実施していく。
		46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画は策定しており、定期的に避難訓練を行っている。	避難訓練は、引き続き、定期的に行っていく。
		47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時や面談時に必ず確認し、職員間で共有している。	引き続き、契約時、面談時等に確認していく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者より聞き取りし、医師の指示に基づき、除去食等の提供など対応をしている。	引き続き、留意して食事を提供していく。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、研修は行っているが、十分な訓練はできていない。	訓練を行い、より完全管理が行き届くようにしていく。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		災害等が起こった場合、避難場所の確認や連絡手段等を契約時に伝えている。	今後も継続していく。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを職員間で回覧し、必要に応じて話し合いを行い、再発防止に向けて取り組んでいる。	今後も継続していく。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修を行ったり、チェックシートを活用し、自分自身の支援の見直しを行っている。	日々の支援の中で、虐待になっていないかなど、気づいたことを職員間で話し合えるようにしておく。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		保護者に説明をし、児童発達支援計画に記載している。また、利用日ごとに説明を行っている。	今後も継続していく。		